



とくしげ まさと
徳重 政時

■本市における新型コロナウイルス
ン接種について
■本市が抱える諸課題について



新型コロナウイルスについて

問 令和6年10月から始まった定期接種対象者の接種者数と接種率の最新値を問う。

答 6年12月末時点での接種者数の累計は6285人、接種率は19・9%である。

問 一昨年9月の報道によると、新型コロナウイルスによる健康被害認定件数は、令和5年8月までの2年7カ月間で4098件と、3年12月までの過去約45年間で3522件だった全ワクチンによる健康被害認定件数を大幅に上回っていたが、審査結果の最新値などを問う。

答 2月17日に開催された、厚労省が設置している審査部会の資料によると、これまでの審査結果と主な請求内容の内訳は次のとおりである。

【審査結果】

- ・進達受理件数……12961件
- ・認定件数……8866件
- ・否認件数……3257件
- ・保留件数……7件
- 《死亡一時金または葬祭料》
- ・進達受理件数……1657件

- ・認定件数……977件
- ・否認件数……551件
- ・保留件数……1件

《障害年金》

- ・進達受理件数……753件
- ・認定件数……187件
- ・否認件数……428件
- ・保留件数……2件

《障害児養育年金》

- ・進達受理件数……23件
- ・認定件数……1件
- ・否認件数……19件
- ・保留件数……0件

問 新型コロナウイルスを接種したことによる健康被害の実態が、インターネットに不得手な高齢者にも伝わるよう、説明会や広報誌などのあらゆる手段を駆使して情報提供できないか問う。

答 副反応や健康被害救済制度に関する情報は、これまでもホームページや特例臨時接種時の接種券と共に送付したチラシを通じて提供してきたが、今後は、広報みはらや定期接種対象者への案内文書の活用に加え、接種者への情報提供を医療機関にも依頼するなど、様々な手段を検討して実施する。

議員研修会(人権問題研修会)を開催しました！

本市議会では、人権意識の向上を図るため、2月14日に福山平成大学 ^{うえむら たかし} 上村 崇 教授を講師に迎え、『現代の人権課題—多様性社会の実現とインターネット社会における人権侵害』をテーマに議員研修会を開催しました。

この研修会では、①多様性を認めるために②多様性と人権意識③インターネット社会における人権侵害の課題④多様性を認める対話について、自身の経験を踏まえながら講演されました。

講演の中で、「価値観は世代や生活環境や人生経験などによって多様であり、インターネットは特定の価値観を強める傾向が強いことを自覚する必要がある。そして、心のクセを自覚して、お互いの価値観の違いを認め合うことが大切で、みんなに共通の道德観を形成していくためには、対話が有効である」ことを学びました。

本市議会は、今回学んだことを今後の議会において活かしていくと共に継続して研修会を実施し、人権意識を高めていきます。



研修会の様子